

千秋だより

※ 発行者
千秋町連区地域づくり協議会
千秋町佐野字郷前2762番地
電話28-9010

地域づくり協議会

今年度も各部会が始動

千秋町連区地域づくり協議会も総会が終了し、各部会ことの会議が始まった。先陣は、健全育成部会が5月25日(金)に開催され、他の部会も今後順次開催される。

健全育成部会、この部会は、地域づくり協議会の中で、児童・青少年の健全育成の推進を目的としている。所管する事業は、家庭・青少年学習事業、魅力ある地域づくり事業、学校外活動推進事業が主な内容となり、公民館家庭学習の料理教室や、スポーツ体験学習、うなぎつみ大会、学校外活動推進の三

世代グラウンド・ゴルフや同じくゲートボール大会、また、小学校で開催される大道芸人との遊びや、音楽会、文化講座、ふれあいコンサートなど多彩な事業が含まれている。部会員は、それぞれの立場で情報を持ち寄り、情報の共有化や活発な意見交換がなされ、今後実施団体への助言などがなされる予定。

球音響くグラウンド

公民館体育レクリエーション部の主催で、4月8日及び15日の両日、千秋東小学校において、千秋春季ソフトボール大会が開催された。

- 優勝 小山119
- 準優勝 勝栗ソフトクラブ
- 第3位 佐野東
- 同 佐野センターズ

また、6月3日及び10日の両日、夏季ソフトボール大会が同場所にて開催された。

- 優勝 加茂クラブ
- 準優勝 勝栗ソフトクラブ
- 第3位 小山119
- 同 加納レッドウィングス



自然体験学習 うなぎつかみ大会



6月3日(日) 人気のあるうなぎつかみ大会が今年も千秋公民館家庭学習部と千秋町地域学校外活動推進委員会の主催で開催された。定員120名の応募枠はすぐにいっぱいになるほど定評があり、地元農家の協力の下子どもたちは元気いっぱいうなぎを追いかけた。普段は

これほど汚しはしないだろうというほど泥だらけになりにながらも、つかみ取ったうなぎを手になんまり。つかみ取りの後は、うなぎを公民館でさばいてもらい、特製のタレと一緒に持ち帰っていった。すぐにでもそれぞれの家庭の食卓に上ることがだろう。

夏には緑のカーテン

これからだんだん暑くなる季節。とは言っても世の中は節電ムード真っ最中。少しでも涼感を得るために、窓から入る熱気を防ごうとゴーヤなど蔓(つる)をネットなどに絡ませ緑のカーテンをつくる方が増えています。エアコンの節約にもなりそうですが、いかがでしょうか。



「社会を明るくする運動」

標語入賞作品

7月は、すべての国民が犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るく安全で安心して暮らせる社会を築く強調月間です。

この趣旨に添い、今年も千秋中学校では全校生徒から標語を募り、審査の結果次のとおり入賞作品が決まりました。(敬称略)

最優秀賞

「一緒に頑張ろう」その一言で 勇気が出る

3年 後藤 大輝

優秀賞

つなげよう 笑顔のバトンで 明るい未来

1年 河田 麻実

特別賞

「ちよっとまで！」 勇気を出して 言ってやろう

2年 長合 一憲

末広大学 糖尿病の話に「真剣」に「聞き耳」

6月8日(金)千秋公民館で一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会主催の教養講座が開かれ、一宮西病院内分泌・糖尿病内科医長、伏見宣俊医師を招き「あなたも糖尿病予備軍」と題して講演を行った。非常に身近な内容なので受講者の聞く姿勢もまじめ「真剣！」



ほぼ満員の受講者

地域の安全を託す

6月1日(金) 早朝、6日(水)夜の両日、地元選出市議員と区域内の町会長らが消防本部の巡回に合せて南分団と北分団をそれぞれ訪問し、地域の安全を担う団員らを激励した。
また、6月17日(日)には、西成中学校にて消防団警防技術発表会が開催された。



訓練中の消防団員分団

「千秋中学校区学校運営協議会」開催

5月12日(土)10時、千秋公民館において第一回千秋中学校区学校運営協議会を開催しました。

この協議会は、今年で3年目。学校・保護者・地域相互の信頼関係を深め、千秋町の子どもの豊かな学びと育ちの創造をめざすことを目的に、学校運営協議会(コミュニティスクール)がスタートしました。



全体会では、代表の河原毅さん(左上写真)から、「千秋子ども達をよくするためにみんなで力をあわせてやっていきましょう」との力強いお言葉がありました。それを受け、学校代表として千秋中学校の高木浩正校長が、「千秋4校、落ち着いたスタートができました。千秋の子どもは千秋で育てる。協力をお願いしたい。」とあいさつをしました。
その後、昨年度の経過報告と本年度の活動計画を検討しました。
全体会終了後、各学校に分かれ、本年度の学校教育方針、行事計画、学校・家庭・地域の連携などについて、委員の方から質問やご意見をいただきました。

一宮市陸上選手権大会開催

一宮市陸上選手権大会が5月19日(土)に、愛知県一宮総合運動場で開催されました。
千秋三小学校の活躍を紹介します。

千秋小

千秋っ子 大健闘

千秋小では、5月1日から授業後、毎日、大会に向けて練習に取り組みました。

「夢をつかめ 千秋っ子」の言葉を胸に、それぞれの選手が力を出しきって頑張りました。



ました。その中でも、男子ボール投げは、3位、6位に入賞するなど、すばらしい成績をおさめました。保護者の皆様、応援ありがとうございました。(写真左上)

千秋南小

「がんばった 陸上選手権」

陸上選手権を目指して、選手の小児童は、全校の先生方から指導を受け、練習に励んできました。

大会当日は、大変よい天気に恵まれ、絶好のコンディションの中、競技に臨みました。

参加した児童は、緊張感の中にも力いっぱいのがんばりを見せてくれました。中で

も、女子百メートル走では優勝という、すばらしい成績を残すことができました。

暑い中にも関わらず最後まで声援を送っていたいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



千秋東小

「男子総合準優勝 おめでとう！」

大会に向けて四月の中旬から、練習に取り組みがはじまりました。男子は総合成績で準優勝という素晴らしい結果を残すことができました。

その他の成績は男子のボール投げ一位、走り高跳び四位、四百メートルリレー四位、女子の走り高跳び三位、百メートル走五位でした。大会当日は、みんな力をあわせ、一人一人が持てる力を十分に発揮することができました。



保健室から

千秋中学校

熱中症予防の取り組み

汗ばむ陽気となり、熱中症の発生が心配される季節となりました。この時期は体が暑さに慣れていないので、急に気温が上昇した日などは注意が必要です。

熱中症になりやすいのはこんなとき

- ① 前日までに比べ、急に気温が上がった場合
 - ② 梅雨明けをしたばかりのとき
 - ③ 気温はそれほどなくても、湿度が高い場合
 - ④ 活動場所がアスファルトや砂の上、草の生えていないところのとき
 - ⑤ ふだんの活動場所とは異なった場所での活動
 - ⑥ 休み明け、練習の初日
 - ⑦ 練習が連日続いたときの最後の数日間
- #### 熱中症予防のポイント
- ① 睡眠・食事をしっかりとって体調を整える。
 - ② 屋外では帽子をかぶる等、直射日光を避ける。

(裏面に続く)



③ 風通しのよい服装をして熱を逃がす。

④ こまめに水分補給をする。

⑤ 暑さになれていないときや体調の悪いときは無理をしない。

学校では、WBGT(暑さ指数)を測定し、数値が高いときは、休息や水分補給の回数を増やしたり、運動の内容を軽減したりしています。また、部活動等の前後には健康観察を行い、健康状態の把握に努めています。ご家庭におかれましても、お子さんが家を出る前の体調確認や水筒、帽子等の持ち物の確認をお願いします。

(各学校にて使用しているWBGTを測る熱中症指標計↑)

一宮警察署 からのお知らせ

水の事故 危険はいつも すぐそばに

～ ちよつとした注意が子どもを守ります ～

◎油断大敵

水の事故は、「慣れ、過信といった気の緩み」や「ちよつとした油断」から発生しています。

◎よく準備体操をしてからゆつくり水に入りますよ。

◎飲酒しての遊泳は、絶対にやめましょう。

◎遊泳禁止区域では、絶対泳がないようにしましょう。

◎天気が悪くなったら、早めの水から上がりましょう。

◎天候が良くても、事前に川の上流の天候や水位を確認しましょう。

◎警報、サイレンが聞こえたら、急な増水に注意しましょう。

◎避難等の警告を受けた場合

は、必ずその指示に従いましょう。

◎子どもの事故防止

子どもの水の事故は、親が目を離れたその一瞬から発生します。

◎危険な場所へ行かないよう、口頃から親子で話をしておきましょう。

◎遊び慣れた川でも子どもだけで川に入らないようにしましょう。

◎子どもから絶対に目を離さないようにしましょう。

◎プールだからといって、安心せずに見守りましょう。

◎不意に友だちが川や池に落ちたりしたら、大声を出し近くにいた大人に知らせよう子どもに教えておきましょう。

◎泳げても浮き輪を持って出掛けましょう。

夏の交通安全県民運動

7月11日から20日まで

夏は、日中の気温が非常に高くなってぼんやりしやすくなることから、集中力が切れた行動を取りやすくなります。

交通事故を防止するためには、交通ルールを守ることはもちろんのこと、ドライバ―、自転車利用者、歩行者がそれぞれの立場で他人を思いやることが大切です。

交通マナー向上五則

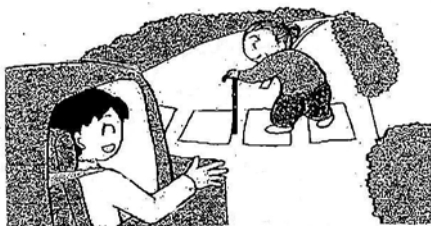
- ～危険な運転を追放し、交通マナーを高めよう～
- 1 正しい合図による右左折や車線変更の励行
- 2 車線変更は、適切かつ必要最小限に
- 3 黄色信号は原則ストップ

4 横断歩道は横断者優先

5 歩道は歩行者優先、自転車は徐行



楽しい水遊びも一変



歩行者を優先しよう
